

第18回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】交差点の安全対策について

交差点「東海駅南」から積水メディカル方面に進んだ最初の交差点は、抜け道として使われている。その交差点には信号機が無く、一時停止標識はあるものの、一時停止ラインを越えたところまで車が勢いよく進んできてから止まるため、歩道を歩いていても、車道を車で走っていても危険を感じる。いつ事故が起きても不思議ではないため、何か対策を検討していただきたい。

⇒【村長コメント】

危険な箇所だと思う。この交差点の先（中央区画整理地内）の道路が完成すれば、この付近の交通状況が変化することも考えられる。担当課に伝える。

【2】村について

【原発のこと】

11月15日にサンピア日立で開催された日本原子力発電（株）の原発に関する説明会に出席した。東海第二原発は老朽化が進んでいることから、再稼動はせず、廃炉にした方が良いと思う。また、原発施設には、自然災害だけでなく、昨今のテロの脅威を踏まえ、テロに対する対策も講じておく必要があると思う。

⇒【村長コメント】

ご意見として伺う。

【村の農業のこと】

村として、農業の発展に積極的に取り組んでほしい。個人規模ではなく、大規模な農業経営や、農業従事者を今後も継続して育成・確保していくことが重要だと思う。

⇒【村長コメント】

大規模な農業経営をするためには、法人化するなど組織的な体制が必要であり、また、若い後継者や認定農業者の育成・確保も重要だと考えている。

【3】原発について

【「日本一危険な村」という看板のこと】

村内に「日本一危険な村」という看板があるが、あの看板を見ると、とても不安を感じてしまう。また、あの看板に記載されている廃棄物は今後どのようなようになるのか。

⇒【村長コメント】

あの看板には、設置者の原発に対する考えが表現されている。あの看板に記載されている廃棄物は、現在は東海村にあり、最終的な処理の方法等については未定である。

【東海第二原発の再稼動のこと】

東海第二原発の再稼動について、現在はどうのような状況なのか。

⇒【村長コメント】

安全基準について、現在、規制庁が審査をしている。再稼動する場合には、規制庁の審査のほかにも、住民や議会、県や近隣市町村等の理解が必要になってくる。

【4】交通について

現在は自分で車の運転ができているが、将来、運転できなくなった時、生活に支障が出てくると思い、不安を感じている。

⇒【村長コメント】

現在の村の公共交通機関として、デマンドタクシーと路線バスが運行されている。自分で運転できなくなった時は、家族の助けを得られると思うが、それがなかったとしても問題が無いよう、公共交通の維持・確保していきたいと思っている。

【5】自治会連合会の機能等について

【自治会連合会の機能のこと】

現在の村内世帯の自治会加入率は約58%だが、70%台を目標として加入促進に取り組んでみてはどうか。

⇒【村長コメント】

自治会に加入していることによるメリットを設けるとともに、未加入世帯の方にも、そのメリットをよく知ってもらえるような取り組みが必要だと考えている。

【看板の表現規制のこと】

表現の自由が保障されている一方で、自由な表現をする以上、そこには責任者の氏名を記載すべきではないかと思う。看板には責任者の氏名を記載しなければならないようなルールを、村の条例や規則等で定めることはできないか。

⇒【村長コメント】

行政として、看板の設置場所や規格的なところでは規制できる余地があると思われるが、看板の記載内容（表現）についての規制は難しい。